

# 平成 27 年度騒音規制法等施行状況調査の結果について

平成 29 年 1 月 31 日 (火)  
環境省水・大気環境局大気生活環境室  
直通 03-5521-8299  
代表 03-3581-3351  
室長 行木美弥 (内線 6540)  
係長 岩原久恵 (内線 6543)  
主査 出口裕也 (内線 6548)  
担当 山崎未来 (内線 6544)

都道府県等からの報告に基づき、平成 27 年度における騒音に係る環境基準の達成状況及び苦情の件数のほか、騒音規制法に基づく地域指定の状況、届出件数、措置の状況等について取りまとめましたのでお知らせします。

## 1. 目的

環境省では、騒音防止行政の一層の推進を図るため、毎年度、全国の都道府県、市及び特別区を通じ、環境基準の達成状況<sup>(\*)</sup>、騒音規制法に基づく各種措置の施行状況等について調査を行い、その結果を取りまとめています。

\*交通騒音及び新幹線鉄道騒音に関する環境基準の達成状況については、別途公表しております。

## 2. 調査結果の概要

### (1) 騒音に係る環境基準の達成状況

騒音に係る環境基準の地域類型を当てはめる地域を有する市区町村は、平成 27 年度末において、全国の市区町村数の 70.7%に当たる 1,231 市区町村でした。平成 27 年度に環境騒音の測定を実施した地方公共団体数は 331 市区町村であり、全測定地点 2,926 地点のうち、85.7%の地点で環境基準を達成していました。

### (2) 騒音に係る苦情の件数

騒音に係る苦情の件数は、平成 27 年度は 16,490 件で、前年度に比べ 620 件減少しました。

苦情の内訳を見ると、建設作業が最も多く 5,523 件 (全体の 33.5%)、工場・事業場が 4,888 件 (同 29.6%)、営業が 1,636 件 (同 9.9%) 等でした。

### (3) 騒音規制法に基づく地域指定の状況及び届出件数

騒音規制法に基づく規制地域を有する市区町村は、平成 27 年度末時点で、全国の市区町村数の 75.0%に当たる 1,306 市区町村でした。

同法に基づき届出された規制対象の工場・事業場 (特定工場等) の総数は、平成 27 年度末時点で、全国で 203,138 件でした。また、同法に基づき平成 27 年度に届出され

た規制対象の建設作業（特定建設作業）の総数は、77,985件でした。

#### （４）騒音規制法に基づく措置の状況

平成27年度の騒音規制法の指定地域内の特定工場等に係る苦情は957件でした。当該年度に行われた騒音規制法に基づく立入検査は651件、報告の徴収は135件、騒音の測定は258件でした。測定の結果、規制基準を超えていたものは136件でした。同法に基づく改善勧告は2件、改善命令は0件でした。また、行政指導が804件行われました。

指定地域内の特定建設作業に係る苦情は1,853件でした。当該年度に行われた騒音規制法に基づく立入検査は1,422件、報告の徴収は265件、騒音の測定は343件でした。測定の結果、規制基準を超えていたものは94件でした。同法に基づく改善勧告及び改善命令は行われませんでした。行政指導が1,645件行われました。

※平成27年度騒音規制法施行状況調査では、平成28年4月14日に発生した平成28年熊本地震の影響により、熊本県内の一部の地域については、集計に含まれておりません。

### 3. 調査結果の詳細

#### 3-1 騒音に係る環境基準の達成状況

##### (1) 騒音に係る環境基準の類型当てはめ状況

環境基本法に基づく騒音に係る環境基準の地域類型を当てはめる地域を有する市区町村は、平成27年度末において、全国の市区町村数の70.7%に当たる1,231市区町村であった(表1)。

表1 環境基準類型当てはめ状況(平成27年度末現在)

|                            | 市     | 区      | 町     | 村     | 計     |
|----------------------------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 全市区町村数                     | 790   | 23     | 745   | 183   | 1,741 |
| 環境基準の地域<br>類型当てはめ<br>市区町村数 | 754   | 23     | 416   | 38    | 1,231 |
| 割合(%)                      | 95.4% | 100.0% | 55.8% | 20.8% | 70.7% |

##### (2) 一般地域における環境基準の適合状況

全国の一般地域(道路に面する地域以外の地域)における環境騒音の状況を把握するため、地方公共団体により測定された環境騒音の環境基準の適合状況について調査した(表2)。

###### ① 環境騒音の測定実施状況

平成27年度に環境騒音の測定を実施した地方公共団体数は331市区町村(前年度335市区町村)で、環境基準の類型当てはめがなされている1,231市区町村の26.9%であった。

測定地点の総数は2,926地点(同3,051地点)であり、そのうち定点測定地点数は2,453地点(同2,468地点)で、全体の83.8%となった。ただし、定点測定地点とは、測定地点のうち継続的な変化を調査するために定期的に測定を行う地点であり、毎年度実施しているものとは限らない。

###### ② 環境基準の適合状況

環境基準の適合状況は、地域の騒音状況をマクロに把握するために必要な地点を選定している場合と、騒音に係る問題を生じやすい地点等を選定している場合とに分けて集計を行っている。

ア 地域の騒音状況をマクロに把握するために必要な地点を選定している場合  
平成27年度は、全測定地点2,592地点(前年度2,733地点)のうち85.7%(同84.8%)の地点で環境基準に適合した。

地域類型別にみた場合、A類型及びB類型地域(住居系地域)では1,898地点(同2,014地点)のうち85.8%(同85.2%)の地点で適合し、C類型地域(住居・商工業混在地域)では691地点(同716地点)のうち85.5%(同83.7%)の地点で適合した。

イ 騒音に係る問題を生じやすい地点等を選定している場合

平成27年度は、全測定地点334地点(前年度318地点)のうち85.6%(同74.8%)の地点で適合した。

地域類型別にみると、A類型及びB類型地域では225地点(同213地点)のうち83.6%(同72.8%)の地点で適合し、C類型地域では109地点(同105地点)のうち89.9%(同79.0%)の地点で適合した。

(注) この集計における環境基準の適合・不適合の判定については、原則として測定した全ての時間帯において環境基準を満たした場合を「適合」とした。

表2 一般地域における環境基準の測定及び適合状況(道路に面する地域を除く)

| 測定実施自治体数 |        | 全測定地点数 | 定点測定地点数 | ア. 地域の騒音状況をマクロに把握するような地点を選定している場合 |       |       |       | イ. 騒音に係る問題を生じやすい地点等を選定している場合 |       |       |       |
|----------|--------|--------|---------|-----------------------------------|-------|-------|-------|------------------------------|-------|-------|-------|
|          |        |        |         | AA                                | A及びB  | C     | 計     | AA                           | A及びB  | C     | 計     |
| 331      | 測定地点数  | 2,926  | 2,453   | 3                                 | 1,898 | 691   | 2,592 | 0                            | 225   | 109   | 334   |
|          | 適合地点数  | 2,507  | 2,089   | 2                                 | 1,628 | 591   | 2,221 | 0                            | 188   | 98    | 286   |
|          | 適合率(%) | 85.7%  | 85.2%   | 66.7%                             | 85.8% | 85.5% | 85.7% | -                            | 83.6% | 89.9% | 85.6% |

AA:特に静穏を要する地域

A:専ら住居の用に供される地域

B:主として住居の用に供される地域

C:相当数の住居と併せて商業、工場等の用に供される地域

### ③ 環境基準の適合状況の経年変化

平成12年度から平成27年度までの過去16カ年の環境基準の適合状況を図1に示した。平成27年度は前年度と比してやや増加しており、長期的にも概ね増加傾向にある。

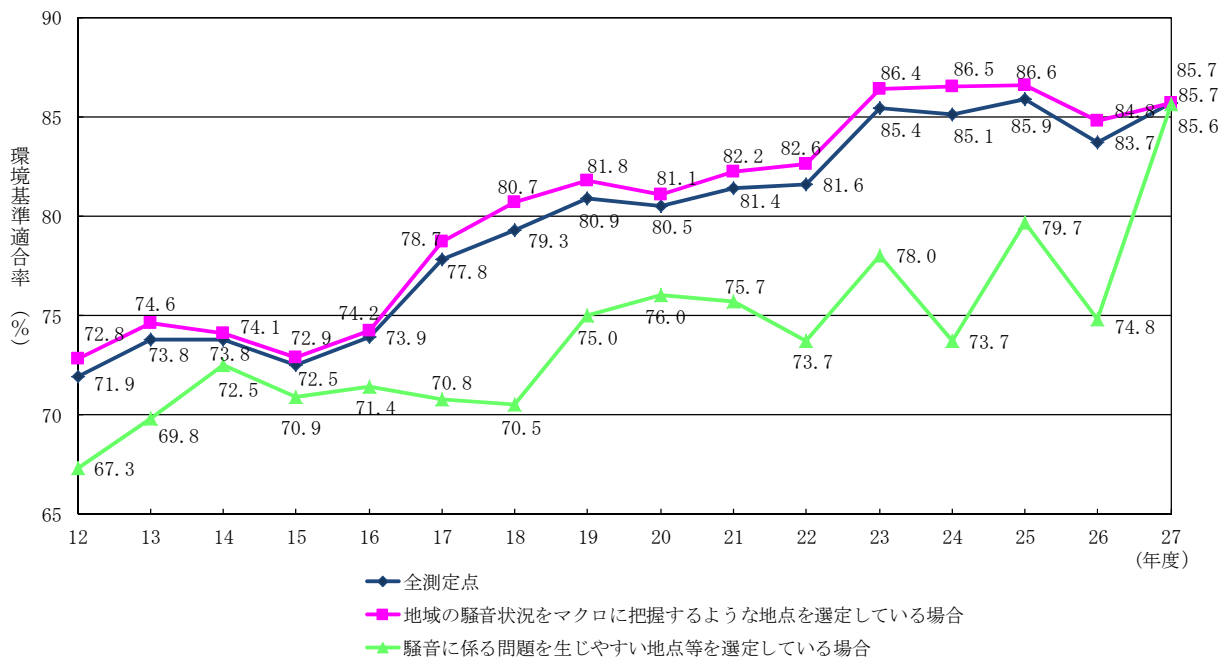


図1 過去16カ年の一般地域における環境基準適合状況

### 3-2 騒音に係る苦情の件数

#### (1) 苦情件数の推移

平成27年度に全国の地方公共団体が受理した騒音に係る苦情の件数は16,490件であった。これは、前年度(17,110件)と比べて620件(3.6%)の減少となった(図2)。

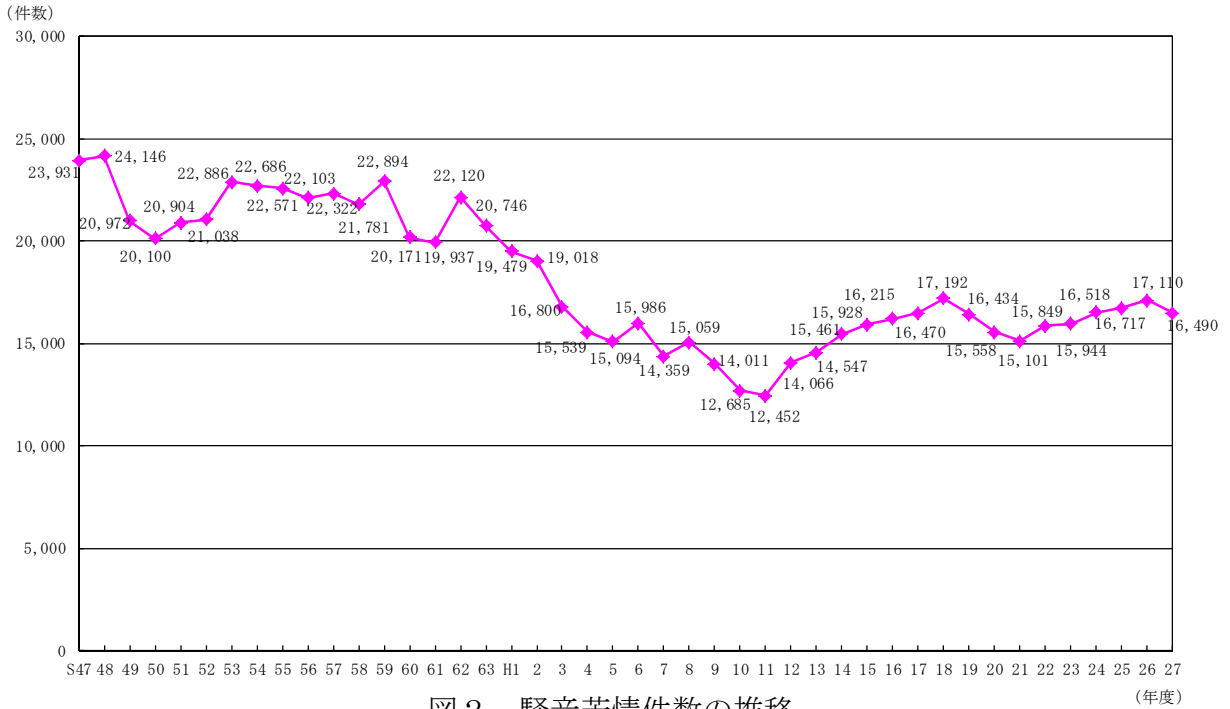


図2 騒音苦情件数の推移

(2) 発生源別の苦情件数

平成27年度の苦情件数を発生源別にみると、建設作業が5,523件(全体の33.5%)で最も多く、次いで工場・事業場が4,888件(同29.6%)、営業が1,636件(同9.9%)の順となっている(図3、図4)。

また、前年度と比較すると、拡声機に係る苦情が50件(14.6%)増加したものの、工場・事業場に係る苦情が225件(4.4%)、建設作業に係る苦情が151件(2.7%)、航空機に係る苦情が107件(19.8%)、家庭生活に係る苦情が55件(5.3%)減少した。

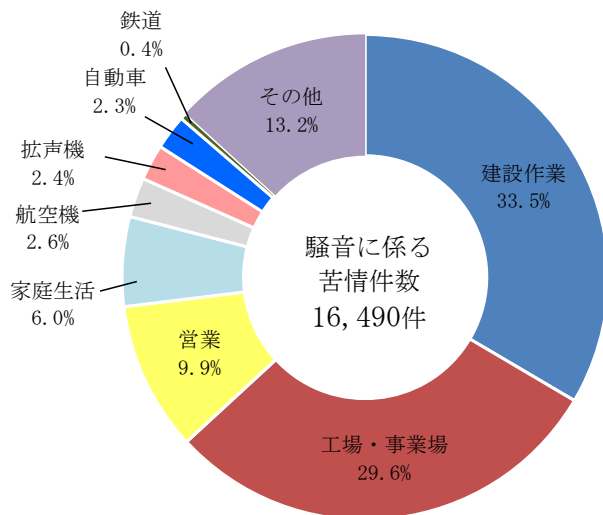


図3 苦情件数の発生源別内訳 (平成27年度)

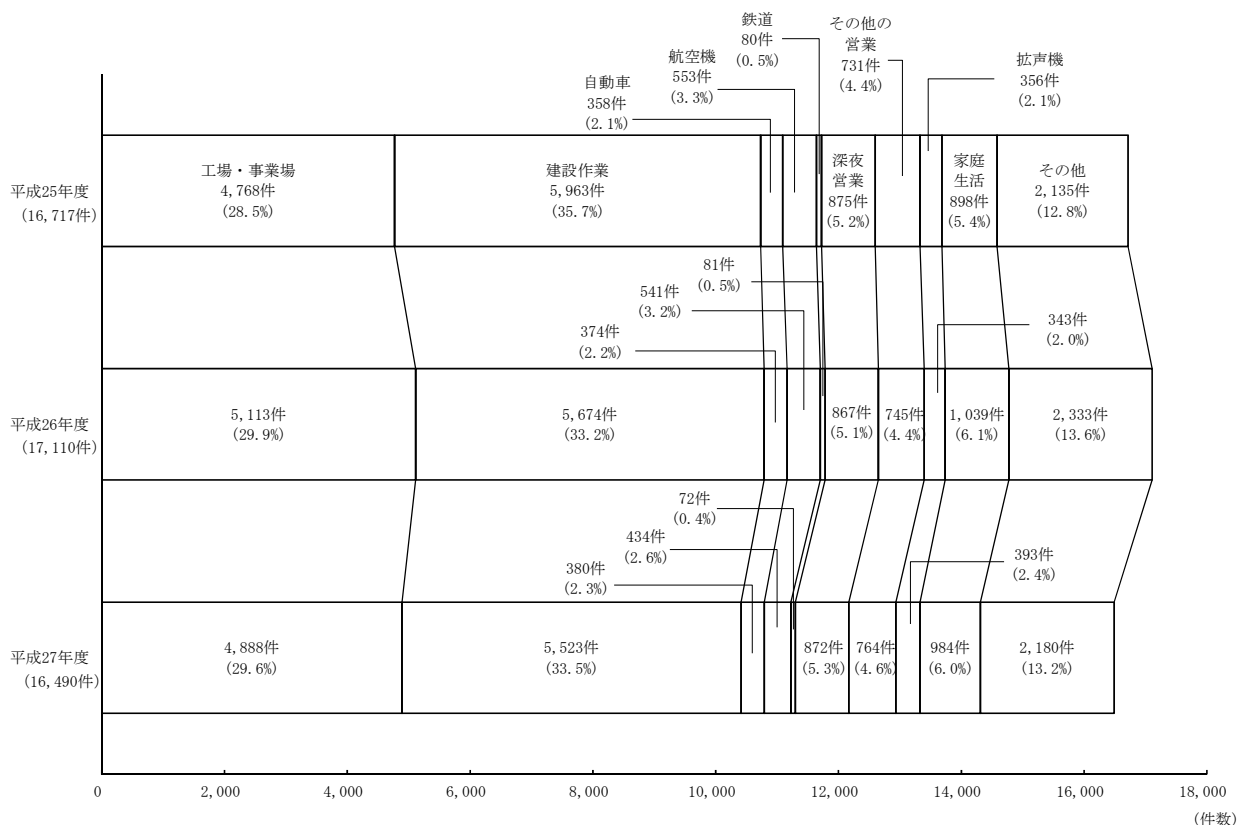


図4 過去3カ年の苦情件数の発生源別内訳

(3) 都道府県別の苦情件数

平成27年度の苦情件数を都道府県別にみると、東京都の3,340件が最も多く、次いで大阪府が1,790件、愛知県が1,577件、埼玉県が1,024件、神奈川県が1,012件、となっている。騒音苦情件数の上位5都府県における合計件数が全体の53.0%に達するなど、大都市を有する地域における苦情が大きな割合を占めた。この傾向は、人口100万人当たりの苦情件数においてもほぼ同様であった(表3、表4)。

表3 都道府県別苦情件数(上位5都道府県)

|   | 苦情件数 |        | 人口100万人当たりの苦情件数 |     |
|---|------|--------|-----------------|-----|
|   | 都道府県 | 件数     | 都道府県            | 件数  |
| 1 | 東京都  | 3,340  | 東京都             | 247 |
| 2 | 大阪府  | 1,790  | 愛知県             | 211 |
| 3 | 愛知県  | 1,577  | 大阪府             | 203 |
| 4 | 埼玉県  | 1,024  | 千葉県             | 158 |
| 5 | 神奈川県 | 1,012  | 京都府             | 144 |
|   | 全国   | 16,490 | 全国平均            | 130 |

※人口は平成27年10月1日の総務省統計局人口推計による。

表4 苦情件数の都道府県別対前年度増減状況

| 都道府県 | 平成26年度 | 平成27年度 | 増減   | 増減率    | 都道府県 | 平成26年度 | 平成27年度 | 増減   | 増減率    |
|------|--------|--------|------|--------|------|--------|--------|------|--------|
| 北海道  | 326    | 349    | 23   | 7.1%   | 滋賀県  | 110    | 129    | 19   | 17.3%  |
| 青森県  | 55     | 67     | 12   | 21.8%  | 京都府  | 374    | 376    | 2    | 0.5%   |
| 岩手県  | 70     | 74     | 4    | 5.7%   | 大阪府  | 1,885  | 1,790  | △95  | △5.0%  |
| 宮城県  | 246    | 249    | 3    | 1.2%   | 兵庫県  | 663    | 625    | △38  | △5.7%  |
| 秋田県  | 50     | 40     | △10  | △20.0% | 奈良県  | 70     | 95     | 25   | 35.7%  |
| 山形県  | 69     | 83     | 14   | 20.3%  | 和歌山県 | 104    | 103    | △1   | △1.0%  |
| 福島県  | 126    | 126    | 0    | 0.0%   | 鳥取県  | 60     | 50     | △10  | △16.7% |
| 茨城県  | 383    | 354    | △29  | △7.6%  | 島根県  | 27     | 24     | △3   | △11.1% |
| 栃木県  | 185    | 153    | △32  | △17.3% | 岡山県  | 209    | 207    | △2   | △1.0%  |
| 群馬県  | 223    | 180    | △43  | △19.3% | 広島県  | 278    | 287    | 9    | 3.2%   |
| 埼玉県  | 1,181  | 1,024  | △157 | △13.3% | 山口県  | 98     | 100    | 2    | 2.0%   |
| 千葉県  | 997    | 985    | △12  | △1.2%  | 徳島県  | 52     | 45     | △7   | △13.5% |
| 東京都  | 3,529  | 3,340  | △189 | △5.4%  | 香川県  | 80     | 82     | 2    | 2.5%   |
| 神奈川県 | 1,208  | 1,012  | △196 | △16.2% | 愛媛県  | 168    | 154    | △14  | △8.3%  |
| 新潟県  | 211    | 172    | △39  | △18.5% | 高知県  | 35     | 25     | △10  | △28.6% |
| 富山県  | 36     | 26     | △10  | △27.8% | 福岡県  | 476    | 475    | △1   | △0.2%  |
| 石川県  | 90     | 76     | △14  | △15.6% | 佐賀県  | 36     | 40     | 4    | 11.1%  |
| 福井県  | 67     | 58     | △9   | △13.4% | 長崎県  | 106    | 137    | 31   | 29.2%  |
| 山梨県  | 74     | 91     | 17   | 23.0%  | 熊本県  | 137    | 169    | 32   | 23.4%  |
| 長野県  | 182    | 222    | 40   | 22.0%  | 大分県  | 149    | 131    | △18  | △12.1% |
| 岐阜県  | 183    | 160    | △23  | △12.6% | 宮崎県  | 128    | 119    | △9   | △7.0%  |
| 静岡県  | 455    | 478    | 23   | 5.1%   | 鹿児島県 | 123    | 142    | 19   | 15.4%  |
| 愛知県  | 1,511  | 1,577  | 66   | 4.4%   | 沖縄県  | 118    | 122    | 4    | 3.4%   |
| 三重県  | 167    | 167    | 0    | 0.0%   | 合計   | 17,110 | 16,490 | △620 | △3.6%  |

△は減少を示す。

(4) 規制対象とそれ以外の苦情件数との比較

3-2(2)で示したように平成27年度の工場・事業場に対する苦情総数は4,888件であり、そのうち騒音規制法の規制対象となる指定地域内の特定工場等に対するものは、957件(全体の19.6%)であった。また、建設作業に対する苦情総数5,523件のうち、同指定地域内の特定建設作業に対する苦情は1,853件(同33.6%)となっている(表5)。

表5 規制対象とそれ以外の苦情件数 (工場・事業場、建設作業)

| 年 度    | 発生源の種類 | 工場・事業場 |       |       |       |        | 建設作業   |       |       |      |        |
|--------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|------|--------|
|        |        | 特定工場等  |       | 左記以外  |       | 計      | 特定建設作業 |       | 左記以外  |      | 計      |
|        |        | 指定地域内  | 指定地域外 | 指定地域内 | 指定地域外 |        | 指定地域内  | 指定地域外 |       |      |        |
| 平成26年度 | 件数     | 963    | 74    | 3,618 | 458   | 5,113  | 2,093  | 55    | 3,295 | 231  | 5,674  |
|        | %      | 18.8%  | 1.4%  | 70.8% | 9.0%  | 100.0% | 36.9%  | 1.0%  | 58.1% | 4.1% | 100.0% |
| 平成27年度 | 件数     | 957    | 74    | 3,386 | 471   | 4,888  | 1,853  | 69    | 3,380 | 221  | 5,523  |
|        | %      | 19.6%  | 1.5%  | 69.3% | 9.6%  | 100.0% | 33.6%  | 1.2%  | 61.2% | 4.0% | 100.0% |

(5) 低周波音に係る苦情の状況

平成27年度に地方公共団体が受理した低周波音に係る苦情の件数は297件(前年度253件)であった(図5)。

内訳をみると、工場・事業場に係るものが72件(全体の24.2%)、家庭生活に係るものが72件(全体の24.2%)で最も多かった(表6)。

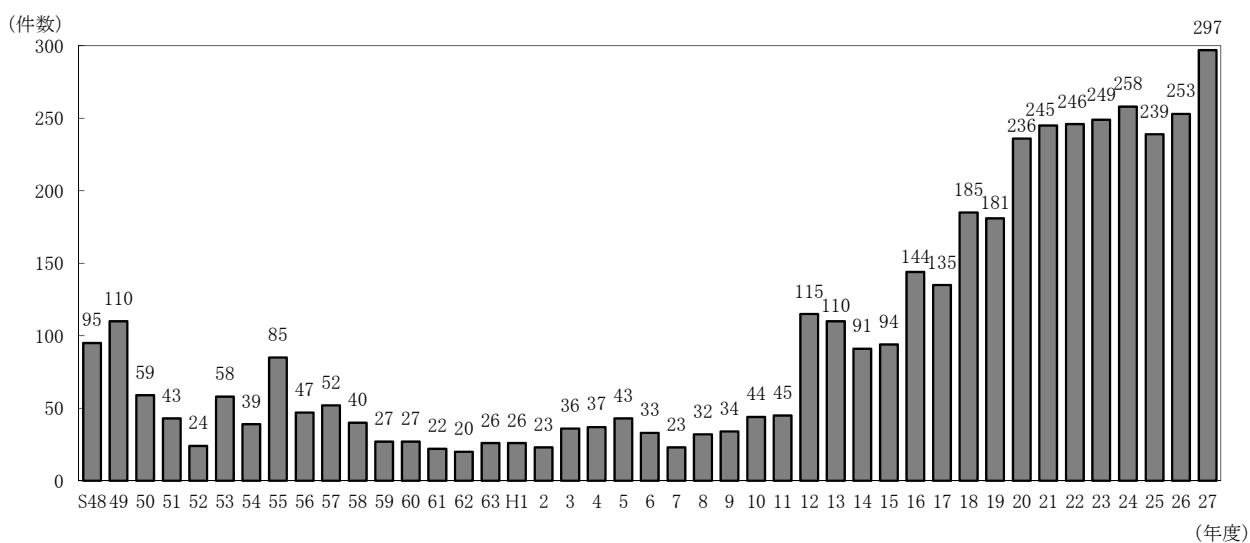


図5 低周波音に係る苦情件数の年次推移

表6 低周波音に係る苦情件数の内訳

| 発生源    | 年度 |    |    |    |    |     |     |    |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | (件数) |        |
|--------|----|----|----|----|----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|--------|
|        | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12  | 13  | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 20  | 21  | 22  | 23  | 24  | 25  | 26  |      | 27     |
| 工場・事業場 | 12 | 16 | 19 | 22 | 21 | 61  | 52  | 40 | 45 | 49  | 54  | 75  | 72  | 65  | 65  | 67  | 83  | 75  | 67  | 72  | 72   | 24.2%  |
| 建設作業   | 1  | 1  | 1  | 0  | 0  | 2   | 3   | 1  | 1  | 6   | 5   | 10  | 10  | 7   | 10  | 10  | 16  | 8   | 19  | 11  | 9    | 3.0%   |
| 道路交通   | 2  | 1  | 1  | 2  | 1  | 1   | 1   | 1  | 3  | 1   | 1   | 5   | 0   | 2   | 3   | 5   | 1   | 5   | 3   | 1   | 4    | 1.3%   |
| 鉄道     | 4  | 3  | 0  | 2  | 1  | 4   | 1   | 3  | 0  | 3   | 1   | 1   | 1   | 2   | 3   | 3   | 0   | 0   | 2   | 0   | 0    | 0.0%   |
| 家庭生活   | 0  | 0  | 3  | 7  | 1  | 20  | 16  | 20 | 21 | 21  | 15  | 20  | 26  | 43  | 28  | 46  | 31  | 36  | 36  | 59  | 72   | 24.2%  |
| その他    | 4  | 11 | 10 | 11 | 21 | 27  | 37  | 26 | 24 | 64  | 59  | 74  | 72  | 117 | 136 | 115 | 118 | 134 | 112 | 110 | 140  | 47.1%  |
| 合計     | 23 | 32 | 34 | 44 | 45 | 115 | 110 | 91 | 94 | 144 | 135 | 185 | 181 | 236 | 245 | 246 | 249 | 258 | 239 | 253 | 297  | 100.0% |



### 3-3 騒音規制法に基づく地域指定の状況及び届出件数

#### (1) 地域指定の状況

騒音規制法に基づき地域指定が行われている市区町村数は、平成27年度末時点で1,306市区町村（前年度1,306市区町村）であり、全国の市区町村数の75.0%（同75.0%）に相当した（表7）。

表7 騒音規制法地域指定の状況（平成27年度末現在）

|           | 市     | 区      | 町     | 村     | 計     |
|-----------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 全市区町村数    | 790   | 23     | 745   | 183   | 1,741 |
| 騒音規制法地域指定 | 777   | 23     | 458   | 48    | 1,306 |
| 割合(%)     | 98.4% | 100.0% | 61.5% | 26.2% | 75.0% |

#### (2) 特定工場等総数及び特定施設の届出数

騒音規制法に基づき届出された特定工場等の総数は、平成27年度末時点で203,138件で、前年度（208,907件）より5,769件（2.8%）減少した（表8）。また、特定施設の総数は1,464,026件で前年度（1,518,520件）より54,494件（3.6%）減少した（表9の②）。

特定工場等の内訳をみると、主な特定施設として空気圧縮機等を届け出ているものが全体の42.7%と最も多く、次いで金属加工機械が20.8%であった（表9の①）。

特定施設の届出数の内訳をみると、空気圧縮機等が全体の46.4%と最も多く、次いで織機が19.8%、金属加工機械が18.3%の順となった（表9の②）。

表8 特定工場等総数の最近の推移

|                | 平成25年度          | 平成26年度              | 平成27年度              |
|----------------|-----------------|---------------------|---------------------|
| 特定工場等総数        | 211,792         | 208,907             | 203,138             |
| 対前年度比<br>(増減率) | 5,026<br>(2.4%) | △ 2,885<br>(△ 1.4%) | △ 5,769<br>(△ 2.8%) |

△は減少を示す。

表9 法に基づく届出件数(平成27年度末現在)

| ①特定工場等総数   |         |        | ②特定施設総数    |           |        |
|------------|---------|--------|------------|-----------|--------|
| 主要な設置特定施設  | 総数      | (%)    | 特定施設       | 総数        | (%)    |
| 金属加工機械     | 42,333  | 20.8%  | 金属加工機械     | 267,995   | 18.3%  |
| 空気圧縮機等     | 86,679  | 42.7%  | 空気圧縮機等     | 678,672   | 46.4%  |
| 土石用破碎機等    | 4,653   | 2.3%   | 土石用破碎機等    | 24,788    | 1.7%   |
| 織機         | 20,098  | 9.9%   | 織機         | 289,506   | 19.8%  |
| 建設用資材製造機械  | 3,034   | 1.5%   | 建設用資材製造機械  | 4,580     | 0.3%   |
| 穀物用製粉機     | 502     | 0.2%   | 穀物用製粉機     | 3,414     | 0.2%   |
| 木材加工機械     | 18,483  | 9.1%   | 木材加工機械     | 57,173    | 3.9%   |
| 抄紙機        | 623     | 0.3%   | 抄紙機        | 2,028     | 0.1%   |
| 印刷機械       | 17,738  | 8.7%   | 印刷機械       | 66,640    | 4.6%   |
| 合成樹脂用射出成形機 | 7,991   | 3.9%   | 合成樹脂用射出成形機 | 62,379    | 4.3%   |
| 鋳造型機       | 1,004   | 0.5%   | 鋳造型機       | 6,851     | 0.5%   |
| 計          | 203,138 | 100.0% | 計          | 1,464,026 | 100.0% |

### (3) 特定建設作業の実施届出件数

平成27年度中の特定建設作業実施届出件数は77,985件(前年度77,602件)であり(表10)、その内訳をみると、さく岩機を使用する作業が49,434件(同46,747件)と最も多く、次いでバックホウを使用する作業が15,193件(同16,324件)の順になっており、これらで全体の82.9%を占めた(表11)。

表10 特定建設作業届出件数の推移

|                | 平成25年度          | 平成26年度              | 平成27年度        |
|----------------|-----------------|---------------------|---------------|
| 特定建設作業届出件数     | 80,273          | 77,602              | 77,985        |
| 対前年度比<br>(増減率) | 2,969<br>(3.8%) | △ 2,671<br>(△ 3.3%) | 383<br>(0.5%) |

△は減少を示す。

表11 特定建設作業の届出件数

| 特定建設作業の種類           | 届出件数   | (%)    |
|---------------------|--------|--------|
| くい打機等を使用する作業        | 3,897  | 5.0%   |
| びょう打機を使用する作業        | 88     | 0.1%   |
| さく岩機を使用する作業         | 49,434 | 63.4%  |
| 空気圧縮機を使用する作業        | 6,885  | 8.8%   |
| コンクリートプラント等を設けて行う作業 | 287    | 0.4%   |
| バックホウを使用する作業        | 15,193 | 19.5%  |
| トラクターショベルを使用する作業    | 518    | 0.7%   |
| ブルドーザーを使用する作業       | 1,683  | 2.2%   |
| 計                   | 77,985 | 100.0% |

### 3-4 騒音規制法に基づく措置の状況

#### (1) 特定工場等に対する措置等の状況

3-2(4)に示すとおり、平成27年度の騒音規制法の指定地域内の特定工場等に係る苦情は957件(前年度963件)であった。

これに対して騒音規制法に基づき行われた措置は、立入検査が651件(同673件)、報告の徴収が135件(同143件)、騒音の測定が258件(同315件)であった。測定の結果、規制基準を超えていたものは136件(同185件)であり、改善勧告が2件(同3件)、改善命令は0件(同0件)であった。なお、これらの騒音規制法に基づく措置のほか、行政指導が804件(同816件)であった(表12)。

表12 指定地域内の特定工場等騒音に係る措置等の状況

|          | 平成26年度 | 平成27年度 |
|----------|--------|--------|
| 立入検査     | 673    | 651    |
| 報告の徴収    | 143    | 135    |
| 騒音の測定    | 315    | 258    |
| (うち基準超過) | 185    | 136    |
| 改善勧告     | 3      | 2      |
| 改善命令     | 0      | 0      |
| 行政指導     | 816    | 804    |
| (参考)苦情件数 | 963    | 957    |

注) 苦情に対して騒音規制法に基づき行われた措置等は、必ずしも当該年度に受理された苦情に対するものとは限らない。

#### (2) 特定建設作業に対する措置等の状況

3-2(4)に示すとおり、平成27年度の騒音規制法の指定地域内における特定建設作業に係る苦情は1,853件(前年度2,093件)であった。

これに対して騒音規制法に基づき行われた措置は、立入検査が1,422件(同1,623件)、報告の徴収が265件(同325件)、騒音の測定は343件(同414件)であった。測定の結果、規制基準を超えていたものは94件(同79件)であり、改善勧告及び改善命令は0件(同0件)であった。なお、これらの騒音規制法に基づく措置のほか、行政指導が1,645件(同1,789件)であった(表13)。

表13 指定地域内の特定建設作業騒音に係る措置等の状況

|          | 平成26年度 | 平成27年度 |
|----------|--------|--------|
| 立入検査     | 1,623  | 1,422  |
| 報告の徴収    | 325    | 265    |
| 騒音の測定    | 414    | 343    |
| (うち基準超過) | 79     | 94     |
| 改善勧告     | 0      | 0      |
| 改善命令     | 0      | 0      |
| 行政指導     | 1,789  | 1,645  |
| (参考)苦情件数 | 2,093  | 1,853  |

注) 苦情に対して騒音規制法に基づき行われた措置等は、必ずしも当該年度に受理された苦情に対するものとは限らない。

### (3) 道路交通騒音に対する措置等の状況

平成 27 年度の騒音規制法の指定地域内における道路交通騒音の苦情は 293 件（前年度 268 件）であった。

これに対して騒音規制法に基づき行われた措置は、騒音の測定が 66 件（同 62 件）行われ、その結果、要請限度を超えていたものが 11 件（同 14 件）であった。また、都道府県公安委員会に対する交通規制等の要請は 0 件（同 0 件）であり、道路管理者に対する道路の構造改善等の意見陳述が 1 件（同 2 件）であった。

なお、これらの騒音規制法に基づく措置のほか、都道府県公安委員会に対する同様の措置依頼が 3 件（同 12 件）、道路管理者に対する措置依頼が 89 件（同 70 件）であった（表 14）。

表14 指定地域内の道路交通騒音に係る措置等の状況

|                    | 平成26年度 | 平成27年度 |
|--------------------|--------|--------|
| 騒音の測定              | 62     | 66     |
| （うち要請限度超）          | 14     | 11     |
| 公安委員会への要請          | 0      | 0      |
| 道路管理者への意見          | 2      | 1      |
| 要請以外の公安委員会への措置依頼   | 12     | 3      |
| 意見陳述以外の道路管理者への措置依頼 | 70     | 89     |
| （参考）苦情件数           | 268    | 293    |

注) 苦情に対して騒音規制法に基づき行われた措置等は、必ずしも当該年度に受理された苦情に対するものとは限らない。